

学校裁量についての実施予定

北海道上ノ国高等学校

【表 の 見 方】

数字が書かれている学科で推薦入学者選抜を行います。数字は募集人員のうち、推薦による入学者の範囲の程度を％で示しています。「＊」を付している数字は、募集人員から連携型入学者選抜による合格内定者数を減じた数のうち、推薦による入学者の範囲の程度を％で示しています。

推薦入学者選抜では、全ての学科で面接が実施されます。実施形態を○で記入しています。

傾斜をかける教科名とその倍率を表しています。
(例) 数・理・英(1.5)
数学、理科、英語の3教科について、その得点をそれぞれ1.5倍にして各150点満点となります。

一般入学者選抜における選抜

15%
学力検査の成績を重視

15%
個人調査書等を重視

70%
個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績を同等に見る

定員

学区	学校名	学科名	入学枠（％程度）	推 薦 入 学 者 選 抜													一 般 入 学 者 選 抜											
				面 接		面接以外に実施する項目	個人調査書											学力検査等の実施				複数尺度による選抜で重視する項目						
				個人	集団		総合所見等											学力検査の傾斜配点 教科（倍率）	実技	面 接		学力検査の成績を重視	個人調査書等を重視					
							英語の聞き取りテスト	英語による問答	実技	作文	学習の記録	学習の時間	総合的な学習の活動	特別活動	奉仕活動	スポーツ活動、文化活動	資格・検定試験等			その他	全員		過年度卒	学力：評定	個人調査書	実技等		
普通科以外の学科については、道内全域です。	学校名・学科名の表記は、6月に発表の公立高等学校配置計画案に基づいています。	英語の聞き取りテスト、英語による問答、実技、作文のうち、学校裁量で行う項目について○を記入しています。	個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって評価の対象とする項目に○（「その他」については具体的な内容）を記入してあります。「総合所見等」の評価の観点は、活動歴や大会、資格・検定試験等の結果のみではなく、活動からうかがうことのできる生徒の長所、個性や意欲、能力などとし、それぞれの観点をバランスよく評価することとします。	実施する内容に○を記入しています。「過年度卒」の○は、過年度卒業者のみを対象とした面接の実施を表しています。	学力検査の成績と個人調査書の「各教科の評定」の記録との重視の比率を表します。	個人調査書の「各教科の評定」の記録と学力検査の成績との重視の比率を表します。	個人調査書の中の項目のうち、選抜に当たって参考とする項目を○で記入しています。																					

※なお、スポーツ活動・文化活動には、学校部活動や地域クラブ活動を含みます。

学区	学校名	学科名	入学枠（％程度）	推 薦 入 学 者 選 抜													一 般 入 学 者 選 抜											
				面 接		面接以外に実施する項目	個人調査書											学力検査等の実施				複数尺度による選抜で重視する項目						
				個人	集団		総合所見等											学力検査の傾斜配点 教科（倍率）	実技	面 接		学力検査の成績を重視	個人調査書等を重視					
							英語の聞き取りテスト	英語による問答	実技	作文	学習の記録	学習の時間	総合的な学習の活動	特別活動	奉仕活動	スポーツ活動、文化活動	資格・検定試験等			その他	全員		過年度卒	学力：評定	個人調査書	実技等		
檜山	上ノ国	普通	30	○						○	○	○	○	○	○				○			8：2	8：2					

令和6年度（2024年度）公立高等学校推薦入学者選抜実施校における
全日制課程の「入学者の受入れに関する方針等」（北海道上ノ国高等学校）

各高等学校では、スクール・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針）を、それぞれの学校のウェブページ等で公表しています。

学区	学校名	学科名	推薦枠	入学者の受入れに関する方針
檜山	上ノ国	普通	30％	次の両方に該当する生徒 1 基本的な生活習慣が身に付いているなど、自らを律することができる生徒 2 高校生活に明確な目的意識を持ち、学業や部活動、生徒会活動等に積極的に取り組む意欲のある生徒